



かさおか



防災学習会を開催

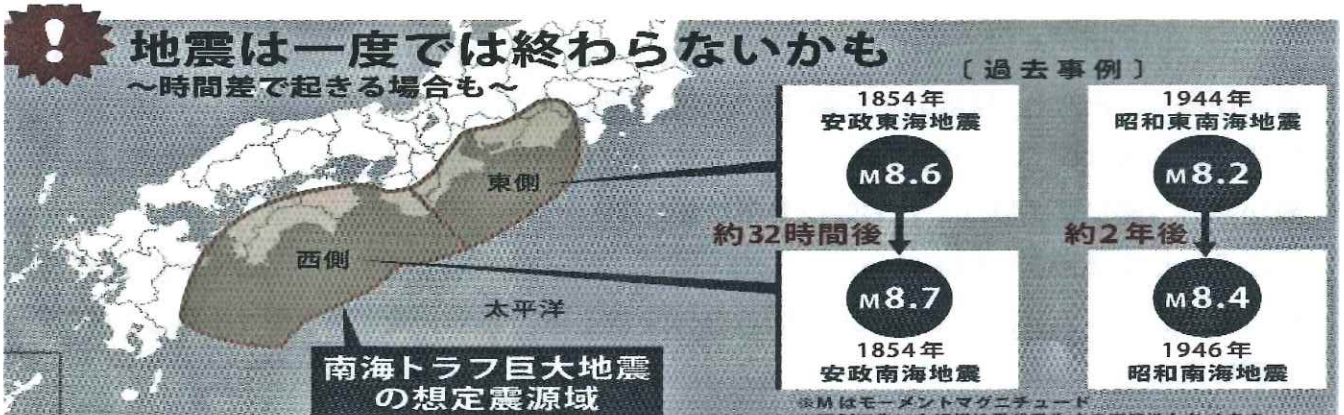


「防災意識は自分事」
無理をせず できるところからやってみよう!!

令和5年2月5日開催

日本は世界有数の地震大国で、昔から多くの被害を受けてきました。また、2011年(平成23年)3月11日に発生し、大津波によって甚大な被害を受けた東日本大震災から12年を迎えます。特に福島県の原子力発電所事故による被害は深刻で、除染作業が進んでいるものの未だ数多くの帰宅困難地域が残っています。そして、私たちの岡山県でも20年以内に60%程度の発生確率とされる南海トラフ地震ですが、専門家は「毎年少しずつ、発生確率が上がっている所以地震や津波への備えを進めてほしい」と話しています。

このような大地震が起こったとき、人々は恐怖とパニックで冷静な行動をとるのが難しくなります。- 備えることで危険は減らせます - まずは身の回りの整理整頓から始めましょう。



3月の行事予定

- 3月10日(金)18:30～
令和5年第1回総務部会を予定
- 3月19日(日)10:00～
令和5年第1回役員会を予定
- 3月24日(金)18:30～
令和5年第2回総務部会を予定
- ☆IDOシネマ映画会
3月5日(日)10:00～

『笠岡地区まちづくり協議会』
事務所: 笠岡市笠岡2627番地
「井戸会館」内
電話: 63-5949
Fax: 75-0101
E-mail: zukuri2@mx1.kcv.ne.jp
開館日: 月・水・金曜日の
14時～17時まで

『笠岡今はむかし物語』



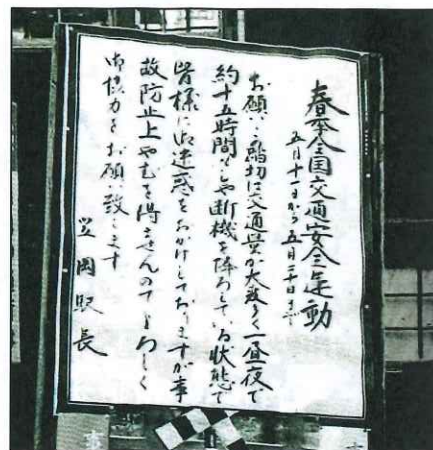
昭和30年代前半の踏切



昭和37年頃



立体交差・県道橋脚工事 昭和41年頃



跨線橋工事



跨線橋工事(2号線側)

駅の北側と国道を結ぶ踏切(西の浜踏切)は、山陽本線と井笠鉄道の両方が通るため列車の通過が多く、その上、貨車の入れ替え作業のため閉じられることも多くあり、一日のうち15時間も遮断機が降りていました。そして、交通量が増加したこともあいまって横断できない車が並び「開かずの踏切」とも呼ばれていました。

こうした交通渋滞を解消するため、国・国鉄・県・市が総事業費約6億円余をかけて、昭和38年から5カ年計画で西の浜踏切の立体交差工事を進め、昭和42年10月17日に完成しました。

写真提供:笠岡市

「編集後記」

温暖な瀬戸内ですが、本当に厳しい寒さが続きました。

3月6日は啓蟄(けいちつ)春の足音もだんだんと近づいています。

マスクを外して、春を探しに出かけてみませんか?

I・M

☆春の全国火災予防運動 3月1日(水)~7日(火)

春先は空気が乾燥して火災が発生しやすい時季です。火の取り扱いに十分注意して火事を起こさないようにしましょう。

☆清掃活動のお願い

笠岡公民館では、毎年桜の咲く前に古城山公園の清掃活動を行っています。今年も、3月12日(日)午前10時から行いますので、皆様のご協力をお願いします。